

第14回 市町村対抗福島駅伝競走大会 出場選手名簿

	氏 名	年齢	勤務先・学校名
監 督	大東 勇樹	29	エコー電気㈱
コ ー チ	渡部 誉典	24	役場
コ ー チ	高橋ゆかり	22	鹿島中教員
キャプテン	菅野 茂則	31	相馬地方広域消防
選 手	林 英滋	49	浜田建設工業㈱
"	加藤 輝彦	30	川俣精機㈱
"	多田 仁彦	30	綿津見神社神官
"	渡部加奈絵	17	原町高校3年
"	高橋 匠	16	福島商業高校1年
"	武田千恵美	16	原町高校2年
"	佐藤 優也	15	飯館中学校3年
"	大内龍太郎	15	飯館中学校3年
"	菅野 将希	14	飯館中学校2年
"	藤井 慶介	13	飯館中学校2年
"	田村紗菜実	13	飯館中学校2年
"	佐々木遥香	13	飯館中学校2年
"	佐藤 浩太	13	飯館中学校1年
"	横山 亜耶	12	飯館中学校1年
"	高橋 愛里	13	飯館中学校1年



ふくしま駅伝へ向け最終調整中

11月17日ふくしま駅伝スタート

第14回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会、通称ふくしま駅伝へ向けて、飯館チームの調整が進んでいます。

昨年の大会で、同チームは村の部10連覇の大記録を達成、今年の大会でも好記録が期待されます。

現在選手達は早朝練習や試走などの練習メニューをこなし、ふくしま駅伝へ向けて着々と準備を整えています。

ふくしま駅伝は、11月17日(日)午前8時白河総合運動公園陸上競技場スタートの予定です。村民の皆さんの応援をお願いします。

こころのぽけっと

「共通体験の 大切さ」

2回目の「村民ふれあい号」が終了しました。

今回の参加者は、区長さんも含め108人でした。その中で、19組、38人の方がご夫婦での参加でした。この「夫婦連れ」は今後の村づくりに重要な意義があるような気がしてなりません。それは、

これからの「家族づくり」にはこの「共通体験」がとても大切なことだからです。一緒に行動し、同じ者を見聞きし、同じ体験を重ねていくことが、これからの高齢化、少子化、子供の荒れの問題などの解決の糸口になるからです。

「共通体験」をしてこなかった先輩方、今困っているはずですよ。こんな話があります。東京の大会社が退職間際の男性職員に「退職金で誰と海外旅行したいか」というアンケートをとったそうで

す。

ほとんどの方が「妻」と答えたそうですが、その奥さんから返ってきた同様のアンケートの中には「夫とだけは行きたくない。面白くないもの」という回答があったそうです。笑い話のようですが、日本の観光地はおばさんの団体で満員のようです。

今年のふれあい号で、さらに気付かされたことがあります。お土産を買うのにいつも一緒の方と、常に離れて行動するご夫婦がいることを。そんな姿を見て、ふと反省しました。そういえば自分はいつも妻に「あなたは勝手に歩くんだから」と言われているなど。

人のふり見て我がふり直せです。次から少し妻にテンポを合わせなくては。でないとあぶないかも。

平成14年10月30日

飯館村長 菅野 典雄